

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから2692日経過しました
- ☆第12次長期滞在クルーのISS滞在は184日経過しました
- ☆第13次長期滞在クルーのISS滞在は3日経過しました

☆ISS動向

第12次長期滞在クルーのウィリアム・マッカーサーとバレリー・トカレフ両宇宙飛行士の6ヶ月にわたる宇宙滞在も終わりに近づきました。

3月30日午前11時30分、第13次長期滞在クルーのパベル・ビンogradとジェフリー・ウィリアムズ両宇宙飛行士およびブラジル初の宇宙飛行士であるマルコス・ポンテス宇宙飛行士の3人を乗せたソユーズTMA-8宇宙船(12S)がカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられました。その後、4月1日午後1時19分、3人を乗せた12SはISSにドッキングしました。これから8日間、両長期滞在クルーは引継ぎや荷物の搬入・搬出作業を主に行い、ポンテス宇宙飛行士はブラジルの科学実験を行う予定です。

第12次長期滞在クルーとポンテス宇宙飛行士を乗せたソユーズTMA-7宇宙船(11S)は4月9日にカザフスタン共和国内の平原に着陸する予定です。11SにはJAXAの高品質タンパク質結晶成長実験装置と3次元フォトニック結晶成長実験装置が搭載され、地上で回収される予定です。



ISSで交信イベントに参加するクルー

前列左から第13次クルーのビンograd宇宙飛行士、第12次クルーのマッカーサー、トカレフ両宇宙飛行士、後列左から訪問クルーのポンテス宇宙飛行士、第13次クルーのウィリアムズ宇宙飛行士

出発式の様子
(3月30日)打上げ
(3月30日)ISSに接近する12S
(4月1日)ISSにドッキングした12S
(4月1日)

“トピックス”

☆皆既日食

3月29日、アフリカ北部から地中海沿岸で皆既日食が観測されました。皆既日食とは、太陽が月に完全に隠される現象で、太陽、月、地球が一直線上に並ぶために起こります。

このとき、ISSからも日食が観測されました。ただし、地上と違うのは、ISSからは地球に映し出された月の影が観測されたことです。

ブラジルで見え始めた月の影は、大西洋を横切り、北アフリカ、中国西部、モンゴルへ移動していきました。地上ではこれら月の影になった地域で日食が観測されたことになります。



地上で観測された皆既日食



ISSから観測された月の影

“インフォメーション”

☆セントリフュージ開発関係者感謝状贈呈式

3月30日、筑波宇宙センターにて、セントリフュージ開発関係者への感謝状贈呈式が行われました。

セントリフュージは、日本が「きぼう」日本実験棟の打上げの代替として開発していたISSの生命科学実験施設で、三菱重工業株式会社、NEC東芝スペースシステム株式会社、株式会社アイ・エイチ・アイ・エアロスペースがJAXAと共に開発に携わってきましたが、昨年9月末にNASAのISS計画見直しのため開発は中止となりました。贈呈式では、セントリフュージの開発概要について報告があり、開発に携わった各社へ感謝状、記念品が贈呈されました。



関係者記念写真



贈呈式の様子

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。